

職業能力評価基準(DIY業)レベル区分の考え

レベル区分	レベル区分の目安
レベル 4	<ul style="list-style-type: none"> ・全社的な基準や制度の改正など、広範かつ統合的な判断および意思決定を行い、企業利益を先導・創造する業務を遂行するために必要な能力水準 ・顧客の意見やニーズを企業の施策に反映させ、事業展開や経営方針の企画・立案・決定に参画するために必要な能力水準 ・安全・安心を常に顧客に提供できるようにリスク管理を行い、必要時の対応など、統括責任者の立場として業務を遂行するために必要な能力水準
レベル 3	<ul style="list-style-type: none"> ・担当責任者として、上位方針を踏まえて管理運営、計画作成、業務遂行、問題解決などを行うことにより、企業利益を創出する業務を遂行するために必要な能力水準 ・顧客の意見やニーズなどの情報を担当店舗などから収集し、店舗運営や商品購買など担当部門の責任者の立場として業務を遂行するために必要な能力水準 ・安全・安心を常に顧客に提供できるようにリスク管理を行い、必要時の対応など、担当責任者の立場で業務を遂行するために必要な能力水準 ・担当地域の店舗運営や担当分野の商品購買など、担当部門における運營業務を遂行するために必要な能力水準 ・自店舗や担当部門の業務遂行を管理するために必要な能力水準
レベル 2	<ul style="list-style-type: none"> ・所属部門や担当売場の中心メンバーとして、創意工夫を凝らして自主的な判断、改善、提案を行いながら業務を遂行するために必要な能力水準 ・所属部門や担当売場において、職務を通じて顧客の意見を吸い上げ、ニーズを発見・整理したり、職場や売場環境の改善を上申するなど、積極的な業務を遂行するために必要な能力水準 ・所属部門や担当売場を中心に、安全・安心を顧客に提供できるように配慮しながら業務を遂行するために必要な能力水準
レベル 1	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者として、上司の指示・助言を踏まえて定例的業務を確実に遂行するために必要な能力水準 ・所属部門や担当売場において、職務を通じて顧客の意見などからニーズを発見し、通常の業務に反映できる能力水準 ・所属部門や担当売場において、職務を通じて安全・安心を顧客に提供することを通常業務で配慮できる能力水準

DIY業におけるキャリア形成の例

